

《最近の県内経済》 (2025年3月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。



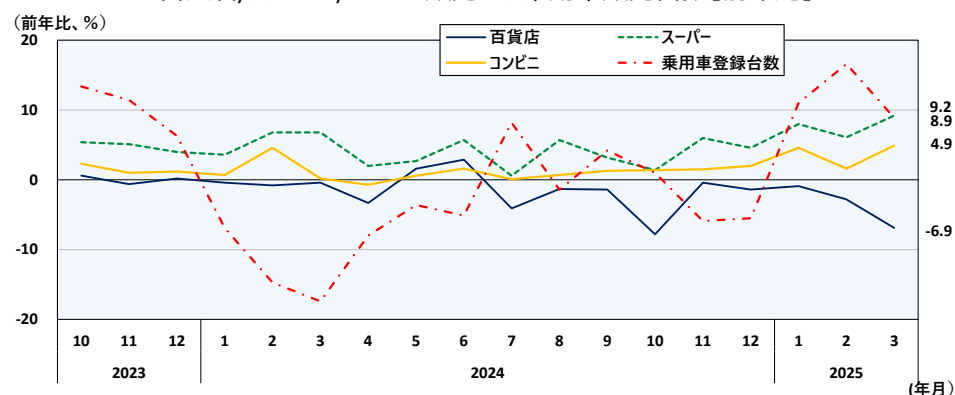
前月比

1 個人消費 ～緩やかに持ち直している



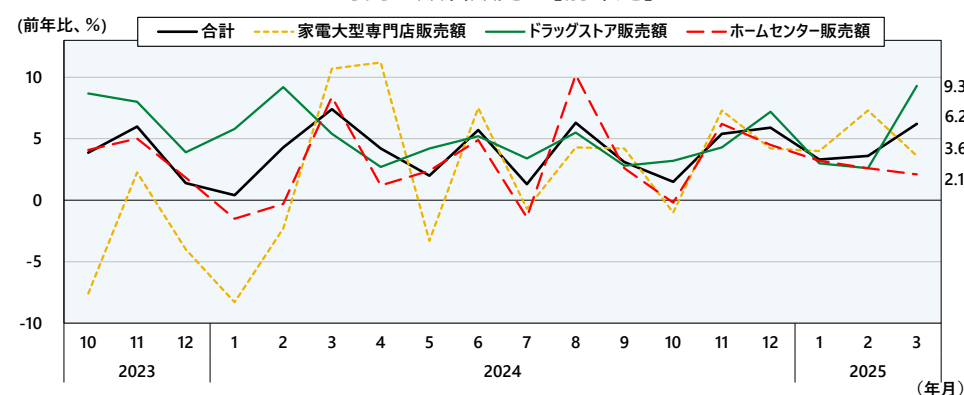
前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



（資料）経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



（資料）経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

3月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は134億円で前年比6.9%減（9か月連続の減少）、スーパーは1,180億円で同9.2%増（30か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は595億円で同4.9%増（11か月連続の増加）となった。寒暖差の大きい不安定な天候要因により春物商材の動きは鈍かったものの、生鮮品や米価格の高騰や惣菜需要の高まりが売上に寄与した。

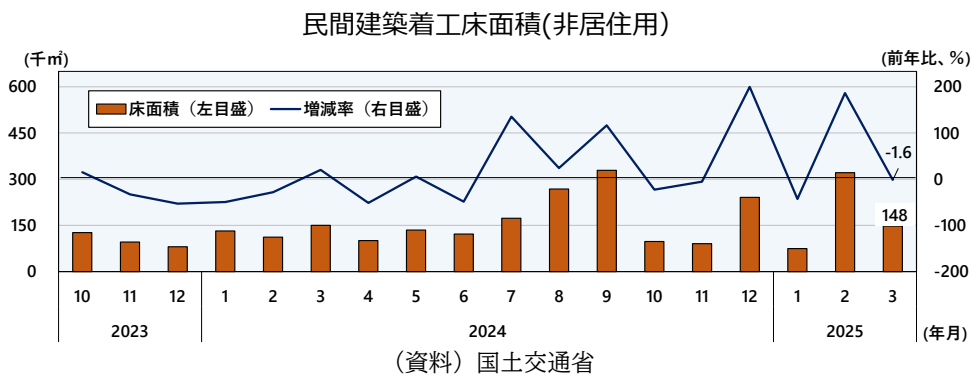
また、乗用車販売は、前年比8.9%増と3か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同4.0%増（9か月連続の増加）、小型車が同9.0%増（3か月連続の増加）、軽自動車と同17.7%増（3か月連続の増加）とそれぞれ増加した。前年の検査不正に伴う生産減の反動が背景にある。

3月の専門量販店販売額は891億円で前年比6.2%増と30か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が225億円で同3.6%増（5か月連続の増加）、ドラッグストアが473億円で同9.3%増（34か月連続の増加）、ホームセンターが193億円で同2.1%増（5か月連続の増加）となった。

家電専門店ではエアコンなどの季節家電やパソコンや携帯電話、ドラッグストアでは調剤医薬品や化粧品、食品など、ホームセンターでは園芸・エクステリア関連が好調だった。

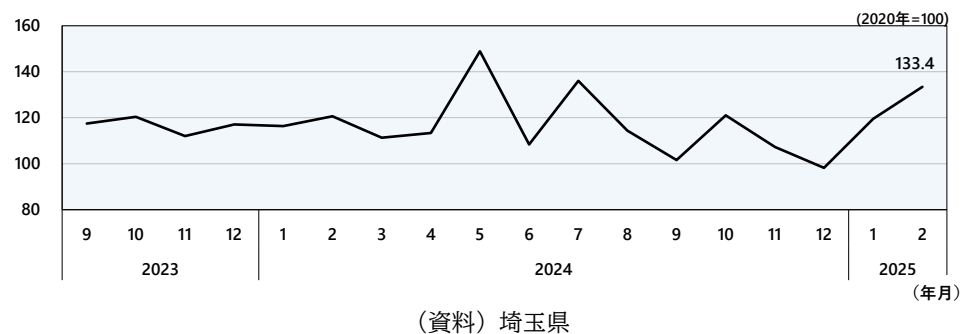
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、2月〈35.4〉、3月〈35.5〉、4月〈32.4〉と推移している。

2 設備投資～持ち直している



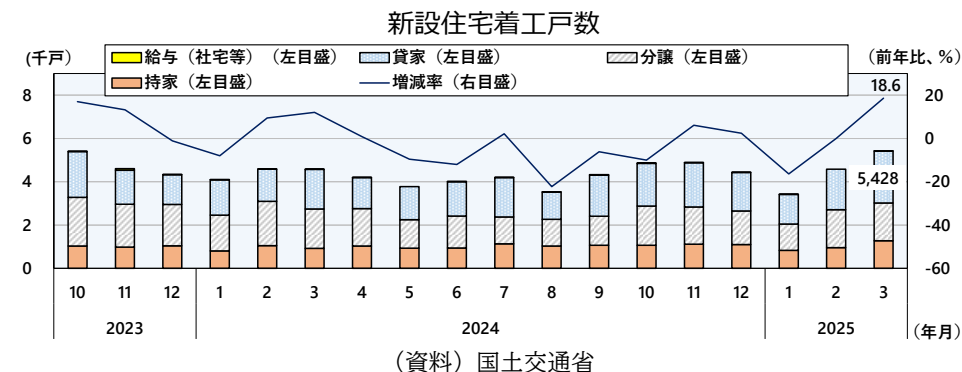
3月の民間建築着工床面積(非居住用)は、148千㎡で前年比1.6%減と2か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均では、前年比53.6%増加)。
用途別にみると、店舗、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所は増加したものの、事務所、学校の校舎は減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



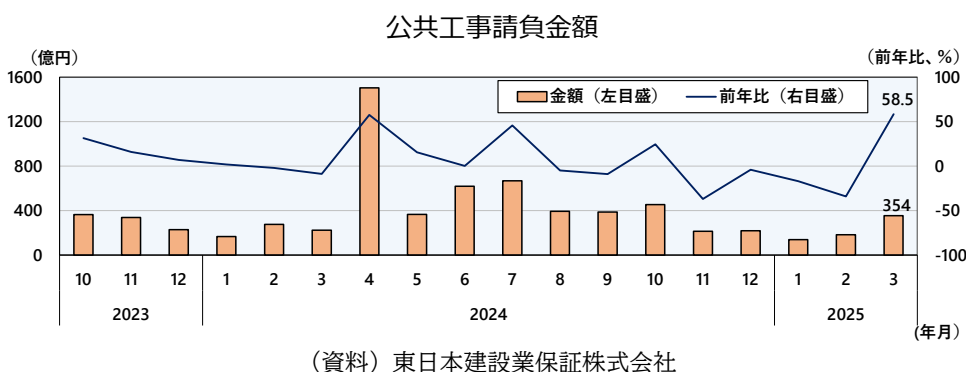
2月の資本財出荷指数(季節調整済)は133.4で、前月比11.6%増と3か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均でも、前年比6.4%増加)。

3 住宅建設～減少傾向に歯止めがかかりつつある



3月の新設住宅着工戸数は、5,428戸で前年比18.6%増加となった(5か月後方移動平均でも2.5%増)。利用関係別にみると、分譲マンション(402戸)が同26.8%減となったものの、持家(1,282戸)が同37.8%増、貸家(2,401戸)が同31.2%増、分譲一戸建て(1,323戸)が前年比6.4%増となった。

4 公共工事～底堅く推移している

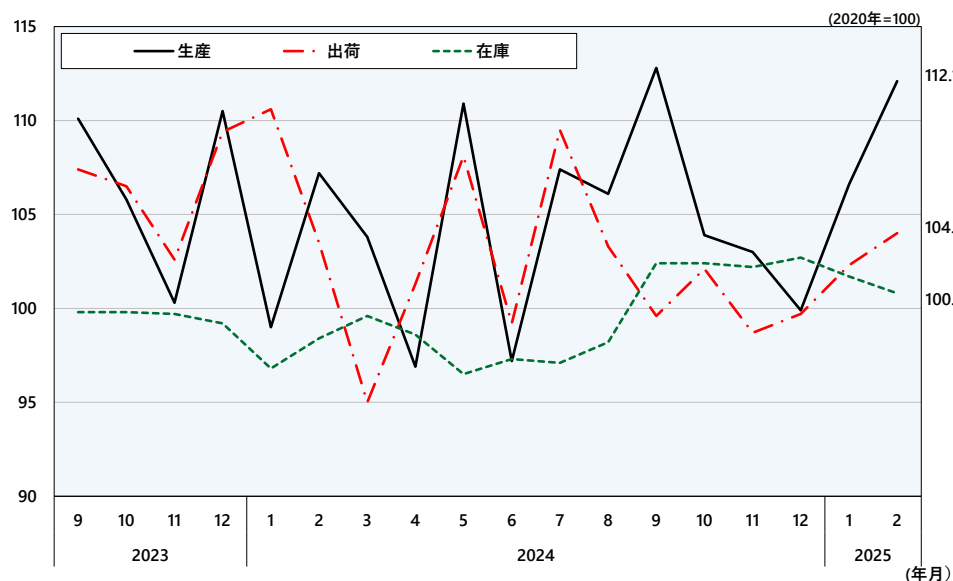


3月の公共工事請負額は354億円、前年比58.5%増となった(5か月ぶりの増加)。5か月後方移動平均では前年比10.2%減で推移。発注者別の前年比をみると、国は減少したものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村は増加した。

5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



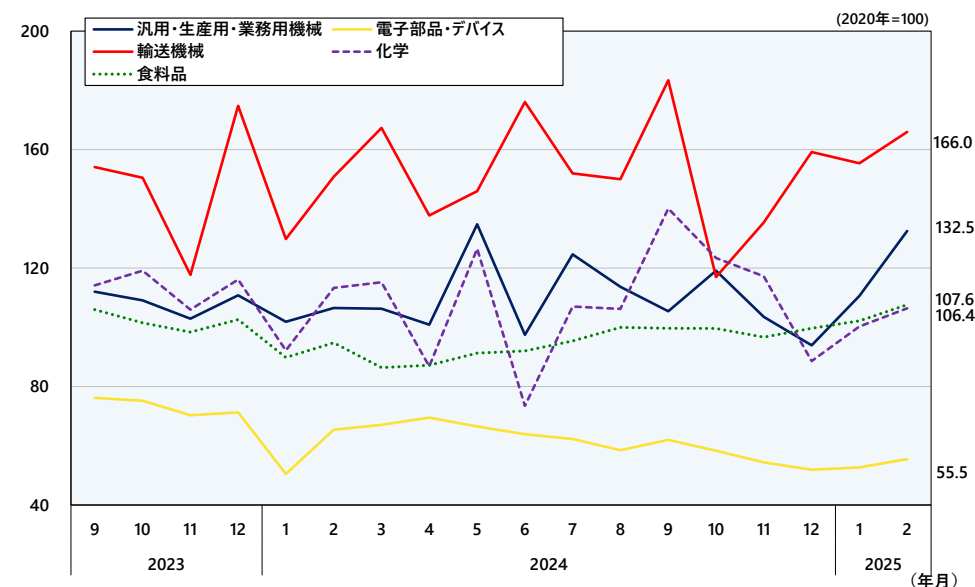
(資料) 埼玉県

2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、112.1で前月比5.2%上昇した(2か月連続の上昇)。電気機械(電力変換装置、電気測定器(半導体・IC測定器を除く))、木材・木製品(住宅建築用木製組立材料、製材)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、輸送機械(航空機用部品、懸架制動装置部品)などが上昇した。

出荷指数(同)は、104.0で同1.7%上昇(3か月連続の上昇)。輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、窯業・土石製品(遠心力鉄筋コンクリートパイル、生コンクリート)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、化学(医薬品、化粧品)などが上昇した。

在庫指数(同)は、100.8で同0.9%低下(2か月連続の低下)。電気機械(電気計器、HIDランプ)、窯業・土石製品(遠心力鉄筋コンクリートパイル、セメント)などが上昇したが、生産用機械(マシニングセンタ、研削盤)、情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)などが低下した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



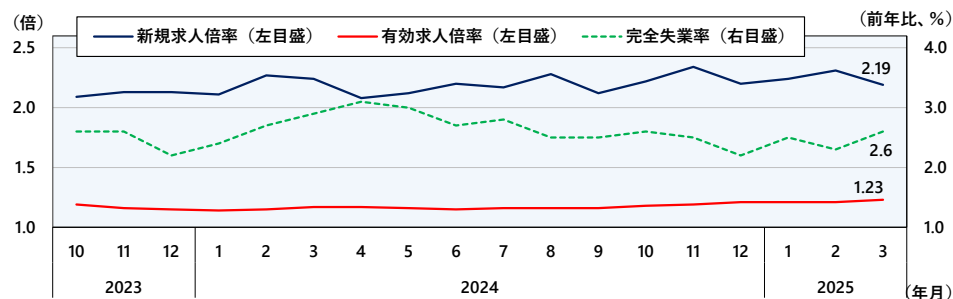
(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、132.5で前月比19.8%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、55.5で同5.3%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、166.0で同6.8%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、106.4で同6.1%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 食料品(同)は、107.6で同5.3%上昇し、3か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢～緩やかに持ち直している

前月比

求人倍率(就業地別・季節調整値)／完全失業率(南関東・原数値)



(資料) 厚生労働省、総務省

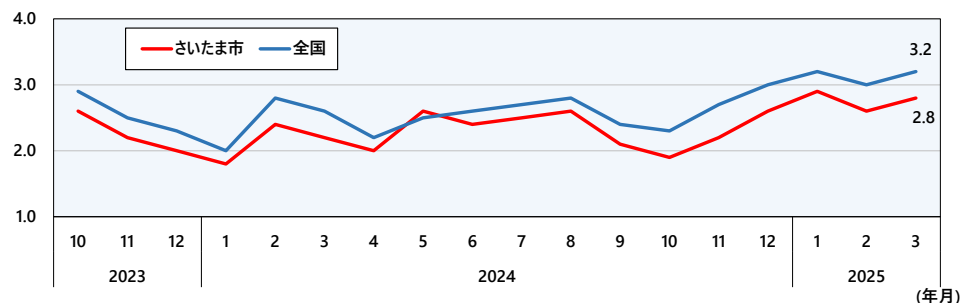
3月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.23倍で前月比0.02ポイント上昇(3か月ぶりの上昇)となった。新規求人倍率(同)は、2.19倍で同比0.12ポイント低下(3か月ぶりの低下)となった。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.3ポイント低下した(前年同月比2か月連続の低下)。

8 消費者物価～緩やかに上昇している

前月比

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)【前年比】



(資料) 総務省

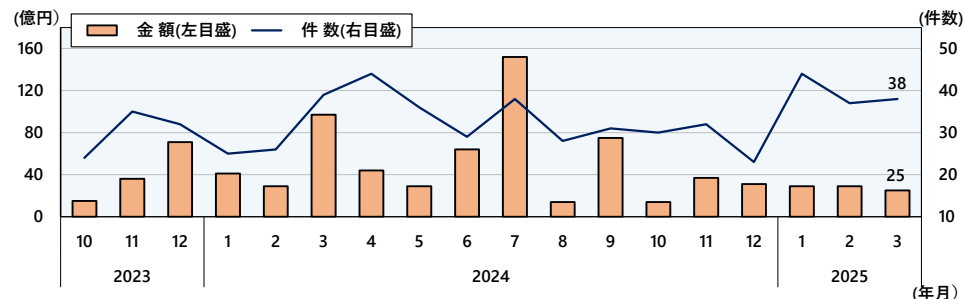
3月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、109.0で前年同月比2.8%上昇した(42か月連続の前年同月上昇)。

食料(穀類)、家具・家事用品(家庭用耐久財)、光熱水道(電気代)などが上昇し、全体を押し上げている。

7 企業倒産～緩やかな増加基調にある

前月比

企業倒産(負債総額1千万円以上)



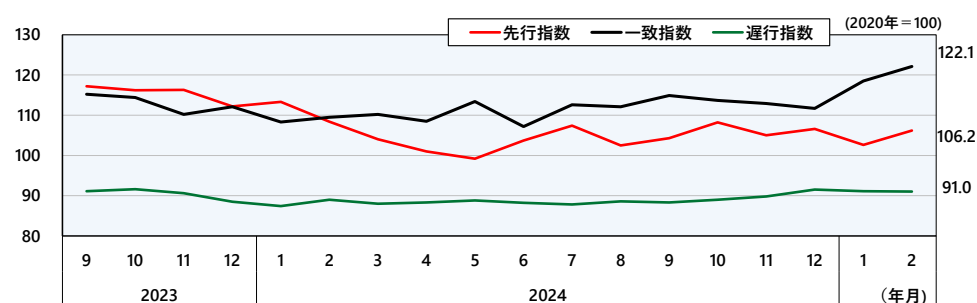
(資料) 帝国データバンク

3月の企業倒産件数は38件で前年同月比1件の減少となった。また、負債総額は25億円で同比72億円の減少となった(5か月移動平均では、件数は前年比4件増加、負債総額は同25億円の減少)。

業種別にみると、サービス業が最多で10件、次いで建設業、小売業がそれぞれ9件、製造業が6件となっている。主因別では、販売不振が35件となっている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～上方への局面変化を示している

景気動向指数(CI)



(資料) 埼玉県

- ・2月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、122.1で前月比3.6ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、106.2で同3.6ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、91.0で同0.1ポイント下降し、2か月連続の下降となった。